

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の特性や活動内容に応じて部屋を分けたり、コロナ禍では利用人数制限を設けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			時間差で勤務形態を作成し、利用者が多い日には職員の数を増やしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用者が見てわかりやすいように掲示を工夫しているが、バリアフリー化の場所を今後は増やしていきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングの中で PDCA サイクルに参画し、記録を残し、それを見直すことで支援に活かしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			すべての保護者に協力を仰ぎ、評価票を実施している。また、アンケートだけではなく、保護者との面談を実施して業務改善に繋げるよう努力している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ママヨヤクやホームページ等を活用し、公開できるように取り組んでいる。今後、定期的に、会報で公開できるようにしていきたい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			多くの外部の方に協力を仰ぎ、評価してもらえるように取り組んでいる。今年はコロナ禍で十分に取組めなかった。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			勤務日を利用した研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要な利用者には三者懇談を実施しているが、今後すべての利用者を対象に定期的に実施していきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要な利用者の方に標準化されたアセスメントツールを利用している。今後、すべての利用者にも使用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プロジェクトチームを立ち上げているが、今後は全職員で立案できるようにしたい。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		いろいろな視点からたくさんの活動プログラムを取り入れるように工夫している。今年はコロナ禍で十分にできなかった。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		休日や長期休みなどには、課外学習などを取り入れて、いろいろな課題を設定して支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		中高生プログラム等を実施するなどして子どもの状況に応じて工夫している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日のミーティングの中で確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		職員の引き継ぎノートを利用し、共有できるように工夫している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用者への支援を記録する担当の職員を固定していて、支援の検証、改善に繋げている。日々の記録を取ることで、子ども達の支援、療育がおろそかにならないように注意している。

関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要な利用者についてはモニタリングをしているが今後すべての利用者に定期的に行いたい。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		まだまだ複数組み合わせ支援できているので、もう一度ガイドラインを見直したい。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		今までに数名のサービス担当者しか参加できていないので今後はもっとふさわしい物が参加出来るように広く呼びかけていきたい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		こちらから学校に積極的に働きかけることで、連絡調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		こちらから園に積極的に働きかけ、情報を共有できるように努めている。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			何度も懇談を重ねて情報を提供している。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今まで以上に機会を増やしていきたい。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	なかなか機会に恵まれないのでこれから働きかけていきたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		天理市の自立支援協議会の子ども部会がなくなったので、同種の事業所が連携して子どもネットワークを立ち上げ連携している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者との連絡ノートや送迎時なども利用しながら子どもの様子を伝えている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの相談にはきめ細かく対応しているが、家族支援プログラムを見直して充実させていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学時や利用契約時に書面を利用しながら、丁寧に説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			常時（24時間）電話対応できるようにしている。また、必要に応じては家庭訪問を実施している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			子育てサロンを実施しているが、今年はコロナ禍で実施できなかった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			電話対応を含め、24時間対応している。また、必要に応じて家庭訪問を実施している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ上や利用者メール、手紙等で予定を発信している。また、ママヨクの活用でタイムリーな発信にも対応している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			パスワード保護をかけているが、パソコン等のウイルスが心配である。

非常時等の対応	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者の気持ちをいつも最優先に考えている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		近隣の住民から畑を借り、農作物作りに支援してもらっている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者に周知されていないので、ホームページ等で周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	今年はコロナ禍で実施できていない。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修の参加を促したり、ミーティングの中での確認を定期的の実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				これから研修を積み子どもや保護者に、事前に十分に説明した上で放課後等デイサービス計画に記載できればと考えている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			いつも全職員に徹底している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ミーティングの中では共有しているが、事例集は作成していないので、今後取り組んでいきたいと思う。